

【感染予防対策のガイドライン】	小田原スキー協会
参加者へのご協力依頼	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 当日の体調確認（発熱、咳症状、咽頭痛、味覚障害など） 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方の有無／受付時にチェック問診、検温 2. 事前に配布する検温記録用紙の提出（当日までの2週間分）傾向観察 3. マスク着用での参加及び予備マスクの持参、服用中の飲み薬持参 4. マスクを外した時はしゃべらない、マスク着用の理解 	
役員・講師	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 行事参加役員は、行事参加までの2週間分の検温記録を提出する 2. 「うつらない」「うつさない」の対策を率先し、積極的に指導実践する 3. 密にならない間隔でのグループ活動（班行動）に留意して行事にあたる 	
バス乗車	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 受付の混雑時は間隔を確保（役員で指示） 2. 乗車時は必ず消毒の実施 3. 座席はお友達などのグループ分け（個人は隣を開ける） 4. 会話の制限（ムダ話は控えるよう案内する） 	
スキー場／スキー講習会（スキー場のガイドラインに従う）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 参加者全体での開講式、閉講式は行わず、班単位で密にならないよう講習を行う 2. スキー手袋、ゴーグル、マスクまたはフェイスガードの着用 3. リフト待ちでの間隔、リフト乗車はグループ（仲間）、スキー場の指示に従う 4. 会話の制限（ムダ話は控える） 	
食事／レストランでの昼食（スキー場のガイドラインに従う）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 予約席確保で他客との3密対策、時差式（2班体制）での密集の回避 2. 昼食（カレーライス）の配膳時は、間隔を開けて並ぶ（担当講師が指示） 3. 適時手洗い、消毒の徹底（トイレ時も同様） 4. 食事中はできるだけ会話を控える 	
ホテル／全般（ホテルのガイドラインに従う）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 宿泊の部屋割りは家族単位、お友達の場合は2人一部屋 2. 食事、入浴等ホテル内での過ごし方は、ホテルのガイドラインに従う 3. ホテル内での体調管理として、協会独自で参加者の問診及び検温の実施 4. 体調不良者がでたら個室隔離の対応、またはホテルのガイドラインに従う 	
協会備品（携帯）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 消毒、非接触型体温計、マスク（参加者予備品）、使い捨てビニール手袋、救急箱（酔い止め薬、解熱剤、湿布薬、絆創膏、体温計）、廃棄専用ゴミ袋 	
発熱・感染の疑い時	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族への連絡 2. 保健所、行政機関への連絡（状況に応じて） 	

*感染状況に応じてガイドラインの内容について変更有り